

令和7年度 指定管理者制度導入施設一覧

区分		施設名	指定管理者	所管課	総合評価	年間利用者数
公募施設	1	たつの市道の駅しんぐう	株式会社共立ソリューションズ	観光振興課	B	76,978人
	2	たつの市道の駅みつ	株式会社清交倶楽部	観光観光課	B	300,413人
	3	たつの市国民宿舎志んぐ荘	株式会社共立ソリューションズ 志んぐ荘共同事業体 株式会社ここいえ	商工振興課	B	57,612人
	4	たつの市新宮温水プール	株式会社アクアティック	スポーツ振興課	B	60,883人
非公募施設	5	たつの市福祉会館	公益社団法人たつの市・太子町広域シルバー人材センター	高年福祉課	B	5,841人
	6	たつの市新宮ふれあい福祉会館	社会福祉法人たつの市社会福祉協議会	高年福祉課	B	27,707人
	7	たつの市御津やすらぎ福祉会館	社会福祉法人たつの市社会福祉協議会	高年福祉課	B	25,479人
	8	たつの市老人福祉センター	社会福祉法人たつの市社会福祉協議会	高年福祉課	B	3,578人
	9	たつの市中央児童館	社会福祉法人たつの市社会福祉協議会	児童福祉課	B	7,629人
	10	たつの市はつらつセンター入浴施設	社会福祉法人たつの市社会福祉協議会	健康課	B	95,093人
	11	たつの市揖西コミュニティセンター	揖西コミュニティセンター管理運営委員会	社会教育課	B	10,200人
	12	たつの市揖保コミュニティセンター	揖保コミュニティセンター運営委員会	社会教育課	B	4,657人
	13	たつの市菅田コミュニティセンター	菅田コミュニティセンター運営委員会	社会教育課	B	5,355人
	14	たつの市神岡コミュニティセンター	神岡コミュニティセンター管理運営委員会	社会教育課	B	7,209人
	15	たつの市西栗栖コミュニティセンター	たつの市西栗栖コミュニティセンター管理運営委員会	社会教育課	B	2,360人
	16	たつの市東栗栖コミュニティセンター	たつの市東栗栖コミュニティセンター管理運営委員会	社会教育課	B	5,569人
	17	たつの市香島コミュニティセンター	たつの市香島コミュニティセンター管理運営委員会	社会教育課	B	6,316人
	18	たつの市越部コミュニティセンター	たつの市越部コミュニティセンター管理運営委員会	社会教育課	B	1,990人
	19	たつの市半田コミュニティセンター	半田コミュニティ運営委員会	社会教育課	B	2,939人

20	たつの市河内コミュニティセンター	河内コミュニティ運営委員会	社会教育課	B	5,472人
21	たつの市室津センター	室津センター運営委員会	社会教育課	B	2,977人
22	たつの市総合文化会館赤とんぼ文化ホール	公益財団法人童謡の里龍野文化振興財団	社会教育課	B	62,384人
23	たつの市総合文化会館アクアホール	公益財団法人童謡の里龍野文化振興財団	社会教育課	B	48,468人
24	たつの市青少年館	公益財団法人童謡の里龍野文化振興財団	社会教育課	B	47,483人
25	霞城館	公益財団法人童謡の里龍野文化振興財団	社会教育課	B	3,558人
26	矢野勘治記念館	公益財団法人童謡の里龍野文化振興財団	社会教育課	B	
27	たつの市本龍野駅観光交流施設	たつの市観光協会・県民交流広場「やさしさを育むまち小宅」推進委員会共同事業体	都市計画課	B	20,362人

年間利用者数合計	898,512人
----------	----------

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設担当課:

産業部観光振興課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	A
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)			
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
地元生産者を中心とした仕入れを行い、常に新鮮味のある売り場作り図り、お客様の要望もお聞きした中で季節に合わせた果物や地産品の展開強化を図り、安定したリピーターを確保出来ている。	
2 市民サービスの向上は図られたか	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
仕入れは地元農家や製造者を中心として連携し、新しい個人農家との取引も開始。ある程度定着してきた商品がある。地元の方からの進物品(素麺・果物等)の商品発送を低価格で発送できるよう企画している。	
3 業務の効率性の向上は図られたか	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
前年同様に今年度もパート従業員への発注権限の委嘱を継続。 担当者間での仕入状況の共有を図るため、発注日を固定化した。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
人件費は前年及び予算を上回り、売上に対する人件費の割合は前年で15%、今期17%と微増した。 社会保険の適応拡大も踏まえて、現場に負担のないようオペレーションの効率化を図りたい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
前年比106.3%(5,411千円増)、利用者数は年間7,210人増加。商品売上は年間計画を上回る成果。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

SNS更新を9月から再開し情報発信を行ったが、繁忙期7～8月は更に発信頻度を高めていきたい。レストラン・ふれあい市場との連携企画の再立案。お客様の回遊導線の強化、視覚的に魅せる展示を取り入れ、「もう1点のついで買い」を誘発し、客単価の向上を狙います。

《施設所管課が実施・検討する事項》

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市道の駅みつ

施設担当課:

産業部観光振興課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	A
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)			
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)特に京阪神からのドライブスポットとして認知度が高く、車だけでなく、バイクやサイクリングの拠点としても立ち寄りスポットとなっており、特に週末は駐車場が満車となるなど、多くの来訪者でにぎわっている。	
2 市民サービスの向上は図られたか	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)キャッシュレス端末の入替えを実施し、決済可能な種類を増やし、レストランではモバイルオーダーシステムを導入するなど、既存サービスを時世に合わせてブラッシュアップしております	
3 業務の効率性の向上は図られたか	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)POSレジをセミセルフ式にリニューアルしてレジ業務の効率化を進めました ※投資・・・5年リースにて総額11,574千円(税別)	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)日頃より、売上予想に応じた人員配置に努め人件費を抑制し、特に売上が急激に減少傾向となった12月以降については、通期予想の想定を踏まえ、経費抑制に努めた結果、経費を削減することが出来ています。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☒ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)4～11月においては、順調に推移していましたが、瀬戸内海の牡蠣へい死により室津牡蠣仕入が出来ないまたは少量でしか入荷できなかったため、12月以降においては牡蠣関連商品の売上が大幅に減少しました。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

- ・年々、温暖化により高温の時期が拡大している中で、屋外売場・BBQスペースなどの快適性をどう高めていくか
- ・2025年度の牡蠣へい死を受けて、2026年度冬季における室津牡蠣の生牡蠣仕入れ、冷凍牡蠣の活用その他対応策

《施設所管課が実施・検討する事項》

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: 国民宿舎志んぐ荘 施設担当課: 産業部商工振興課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	C

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	令和7年8月1日より当共同事業体(株式会社ここいえ)が管理運営を開始し、開館日・開館時間を遵守のうえ、利用者対応等の基本業務を概ね実施した。自主事業については、ランチバイキングやもみじまつり等を実施し、利用者サービスの向上と集客に努めた。また、研修計画や緊急時マニュアルの整備を進めるとともに、食器洗浄機の修理、厨房エアコンの更新、館内照明のLED化、新館浴場への緊急通報装置設置等を実施し、安全性・快適性の向上及び省エネルギー化を図った。 一方で、適正な人員体制及び労務管理体制の確立、収支管理体制の強化が課題であり、今後も安定した施設運営とサービス水準の維持・向上に取り組む。		
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
宿泊利用者は減少したが、休憩利用者は大幅に増加したことから、国民宿舎としての目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
地元自治会やサークル活動による利用を促進すべきところであったが、指定管理者の変更による予定外の休館日を設けるなど運営の鈍化があり、一部で市民サービスの停滞が見受けられた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
館内照明のLED化を進めつつ新館大浴場の緊急通報装置を設置するなど設備面での効率化を図るとともに、部屋食提供をレストラン等での提供や、喫茶ルームのセルフサービス化などの効率化に努めた。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
施設老朽化に伴う修繕費や、清掃・警備等の外部用費は増加したものの、食材の仕入れや人件費を見直し、LED化による省力化を図った結果、前年度と比較して経費を削減することができた。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
指定管理料の増加を差し引いても事業収入が増加しており、前年度と比較して約1,800万円の増収となった。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

適正な人員配置及び労務管理の徹底を図るとともに、職員研修や緊急時対応体制の継続的な見直しを行い、安定した施設運営に努める。また、計画的な施設・設備の維持管理及び収支管理の強化を進め、利用者サービスの向上と効率的な運営の両立を図る。さらに、自主事業や広報活動を充実させ、利用促進及び地域活性化に取り組む。

《施設所管課が実施・検討する事項》

定期的な情報共有及びモニタリングを継続し、人員体制や労務管理、収支管理の状況を確認しながら、適切な指導・助言を行う。また、施設の維持管理及び利用者サービスの向上に向けて、定期的に指定管理者と協議し、安定的な施設運営を支援する。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市新宮温水プール

施設担当課:

教育事業部スポーツ振興課

評価項目		評価基準	評価
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	【事業運営】利用者のニーズに合わせた教室(日曜教室、短期教室)の開催、体験キャンペーンなどを行うことにより、施設利用者の増加を図っている。 【利用状況】【予算執行】【収支状況】臨時休館のあった前年度と比較して、利用者は大幅に増加した。概ね収支計画に沿って、適正に予算執行されている。利用料収入の増加及び光熱水費の上昇抑制等により、収支は黒字となった。		
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 地域に開かれた健康づくりの拠点として、年間6万人以上の方に利用いただいた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 厳格な水質管理等徹底した衛生管理、従業員の業務能力向上のための研修・指導体制により、安全で快適なサービスの提供に努めている。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 受付、監視、スイミング等業務を細分化して、人員配置の最適化を図っている。また、SNSを有効活用し、ターゲットに合わせて情報発信している。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 効率的な人員配置と設備の運転時間の調整等により、人件費や光熱水費の上昇を抑える取組みをしている。経費縮減については、直営時と変わらない状況であると考えます。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 臨時休館のあった前年度と比較して、利用料収入は24,352千円増えた。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

安全で安定した施設運営を行うため、設備等不良箇所の早期発見・修繕を心掛ける。

ニーズに応じた多様なプログラム(スイミング、スタジオ)を提供することで、市民の健康づくりに寄与する。

施設利用者の平等・安全を守るため、従業員の研修を定期的に行う。

《施設所管課が実施・検討する事項》

安全で快適な利用環境を提供できるよう、施設の改修を進める。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市福祉会館 施設担当課: 福祉部高年福祉課

評価項目		評価基準	評価
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	A
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	A
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	A
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	A
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	A

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	A
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	A
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	A
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理が来ている。 【人員体制】【緊急対応】【管理記録】元消防隊員の配属、緊急時のフロー図を職員全員が確認できるよう事務所に貼付するなど、危機管理体制が整っているため実施体制についてA評価とした。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
目標達成のため事業計画を適格に実施した。	
2 市民サービスの向上は図られたか	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
会館出入口の段差表示及び大会議室の原状復帰表示の劣化に伴い再設置し、安全確保と適正利用の促進を図った。	
3 業務の効率性の向上は図られたか	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
防犯カメラを設置し、施設管理及び安全確認の効率化を図った。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
職員で対応できる修繕は行った。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
使用料の改定により収入が増加したため。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

特定建築物等定期調査の指摘事項については今後設置者と協議を行う

《施設所管課が実施・検討する事項》

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市新宮ふれあい福祉会館 施設担当課： 福祉部高年福祉課

評価項目		評価基準	評価
1 <			

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		・新宮地域のボランティア活動の拠点として活用されている。 ・研修室等については、営利団体による利用もあり、定期的な利用がみられる。 ・入浴設備等改修工事の実施により、風呂利用客から満足の声が寄せられた。 ・設備の更新時期が到来する中、必要な入替えや更新に対応することができた。引き続き施設設備の維持が必要である。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☒ ①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
(理由)	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

・平成8年竣工の本施設の必要な修繕等を行いながら、利用者が安全かつ安心して利用できるよう、引き続いての適性な施設の維持管理

《施設所管課が実施・検討する事項》

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市御津やすらぎ福祉会館 施設担当課: 福祉部高年福祉課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	A
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	A
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	【利用者対応】 利用者に対して挨拶を欠かさず、明るい雰囲気作りができていたためA評価とした。就園前の幼児から高齢者まで幅広い層の市民が利用する施設となっている。		
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由) 幼児から高齢者まで幅広い年代の住民が利用できる環境を整えた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由) 利用者からのニーズに対し可能な範囲で対応した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由) 少ない職員数の中、高年福祉課、健康課、児童福祉課と連携を図り効率的に業務を実施した。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由) 予算額より電気料金を抑えることができた。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
(理由) 有償使用者の減少による。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

就園前の幼児から高齢者まで幅広い層の市民が利用する施設となっている。今後も市民の居場所のひとつとして、利用していた
だけの施設となるよう検討する。

《施設所管課が実施・検討する事項》

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市老人福祉センター

施設担当課：

福祉部高年福祉課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	A
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
--------	---------------------------------------	---

5 特記事項 (成果、課題等)	・健康増進を目指す市老人クラブの企画会議等を行う運営拠点として活用された。 ・施設の老朽化に伴う計画的な修繕	
--------------------	---	--

※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
2 市民サービスの向上は図られたか	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
3 業務の効率性の向上は図られたか	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☐ ②減少 ☒ ③直営時と変わらない
(理由)	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

- ・各種事業・活動を安定的に実施・運営するための人員確保
- ・高齢者の健康増進等を図るための多様な趣味クラブ講座の開催検討

《施設所管課が実施・検討する事項》

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市中央児童館

施設担当課：

福祉部児童福祉課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	A
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		市や関係団体と適切な連絡調整を行い、良好な施設運営を継続している。 【連絡調整】必要に応じて連絡や報告をしているためA評価とした。 【利用者対応】開設時間に合わせた準備をし、利用者に優しく声をかけ丁寧な対応をするとともに、備品等を適切に提供しているためA評価とした。 【事業運営】【利用者アンケート】利用者の意見を聴きながら、季節に応じた装飾や行事を行い、利用者が楽しめる環境を整えたためA評価とした。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
年代に合わせた7種類のクラブ活動、えほんの貸出などの毎月の事業のほか、季節に合わせた行事を企画実施している。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
小中高校生向けの交流や学びの場として、Wi-Fiが利用可能な学習室を常時開放し、利用のきっかけづくりとしている。運動会実施の際には、中学生高校生のボランティアを募集し、中高生が児童館で活動できるきっかけとしている。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
正規職員とパート職員の連携を図り、対応の意思統一を図ることで、利用者に対してスムーズな対応を実施している。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか？	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
職員配置を工夫することで人件費を抑え、事業全体の経費削減に努めている。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☒ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
条例の規定により、利用料金の徴収なし。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

- ・施設の清掃・美化・遊具の安全で快適な利用環境の維持に努める。
- ・子育て環境の変化を踏まえつつ、児童館が親子の交流の場及び子どもたちの健全な遊びの場としての役割を果たしていけるよう、引き続きニーズや環境の変化に対応しながら、乳幼児から高校生までの幅広い年齢層の利用促進に取り組む。

《施設所管課が実施・検討する事項》

- ・人件費等の支出を抑制し、運営できる体制を整える。
- ・こどもの居場所の一つとして、小中高生が利用し、交流や活動ができる環境を作る。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市はつらつセンター入浴施設 施設担当課:

健康部健康課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	A
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	A
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	A
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	実施体制については、点検、報告体制の充実、市との連絡調整、緊急対応マニュアルの見直しを実施する等の取組を強化している。 業務内容・水準については、昨年度からの利用者の増加に対応するため、利用者への注意喚起や接遇対応を徹底し、安全確保の取組や苦情への迅速な対応ができています。また、レジオネラ菌が発生したことから、保健所の指示も踏まえ、配管洗浄や機材の変更、薬剤投入の強化等再発防止に努めている。		
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)利用者数は、定期的に利用される方が多く、生活の一部と憩いの場として定着している。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)修繕が必要な場所について迅速に対応し、安全安心な施設として利用されている。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)職員間の連絡、声掛け、確認を行い、業務の効率性の向上を図った。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか？	☐ ①できた ☒ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)光熱水費、物価高騰などによる消耗器具備品費の増加により維持管理費用は増額した。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☒ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)今年度4月からの利用料金の値上げに伴い、昨年度末に回数券の駆け込み購入があり、今年度の利用料が減少した。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の清掃・美化、感染防止に努める。

入浴中の事故(心疾患や脳血管障害による意識障害等)を防止するため、職員の声かけにより入浴前の血圧測定など、入館者の自己管理を促す。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設が建設されてから23年が経過しているため、機器や設備の更新を順次図っていく。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市揖西コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」「総括」による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理を行っている。		
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)ヨガやステンドグラス教室、歴史セミナーなど各種講座を通じて、住民の学習意欲に寄与した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)担当課との連携により、効率よく事務遂行している。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)環境整備作業・修繕等、運営委員で実施できることは外注せずに実施している。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)選挙3回と営利目的の定期利用で、予算を達成できた。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

営業利用を定着させたい。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の長期的な維持管理を目的に修繕箇所等の調査を行い、利用者が快適に利用できる環境づくりに努める。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市揖保コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

★モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた	☐ ②できなかった	☐ ③直営時と変わらない
①(理由) 利用者アンケートでは利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。			
2 市民サービスの向上は図られたか	☒ ①図られた	☐ ②図られなかった	☐ ③直営時と変わらない
①(理由) 寄せ植え、靴作り、歴史セミナーそば教室など各種講座を通じて、住民の学習意欲に寄与した。			
3 業務の効率性の向上は図られたか	☒ ①図られた	☐ ②図られなかった	☐ ③直営時と変わらない
①(理由) 事務員1人でも、計画を立て手順良く遂行できた。			
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☒ ①できた	☐ ②できなかった	☐ ③直営時と変わらない
①(理由) 必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。			
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加	☐ ②減少	☐ ③直営時と変わらない
①(理由) 選挙の会場となり、使用料が増えた。			

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

利用者のアンケートや声を通して、学習意欲につながるような講座等を工夫していく。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の長期的な維持管理を目的に修繕箇所等の調査を行い、利用者が快適に利用できる環境づくりに努める。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市菅田コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

収 支 等	3 経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」「総括」による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。	
※ 評価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由)地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由)ちぎり絵、ふるさと料理、花とみどり教室など各種講座を通じて、住民の学習意欲に寄与した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由)ミスやトラブルがなく、安定した運営ができています。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由)利用者や運営委員と協力し、自分たちでできることは実施している。まとめ買いをするなど、経費節約に努めている。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
(理由)主催事業の講座が増えたため、利用料が増えた。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

自主講座を増設する等の工夫で、利用者の増加に努める。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の長期的な維持管理を目的に修繕箇所等の調査を行い、利用者が快適に利用できる環境づくりに努める。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市神岡コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理を行っている。		
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた	☐ ②できなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由)アンケートからも利用満足度が高いことがうかがえる。			
2 市民サービスの向上は図られたか	☒ ①図られた	☐ ②図られなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由)料理・お菓子作り教室など各種講座を通じて、住民の学習意欲に寄与した。			
3 業務の効率性の向上は図られたか	☒ ①図られた	☐ ②図られなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由)運営委員、担当課と連携し、迅速に業務対応できている。			
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☒ ①できた	☐ ②できなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由)突発的な修繕や備品の購入に備えてできるだけ節約に心がけている。			
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加	☐ ②減少	☐ ③直営時と変わらない
(理由)3回の選挙により、使用料が増加した。			

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

清掃や草刈り等快適な環境づくりをできる範囲で運営委員等で実施し、施設の維持管理に努める。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の長期的な維持管理を目的に修繕箇所等の調査を行い、利用者が快適に利用できる環境づくりに努める。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市西栗栖コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理を行っている。		
※ 評価 区分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) アンケートから地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 利用者が気持ちよく利用できるよう、清掃等を徹底してサービス向上に努めた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 事務員1人でも、無駄な工程を省くなど工夫し作業効率を上げている。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☒ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 利用人数が減少したため。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

アンケートを増やし、利用者の声を反映する。

清掃の徹底や備品管理などを行い、快適な環境づくりを目指す。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設利用を促進するために、新たな利用者の開拓と空きスペースなどの活用について検討を行う。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市東栗栖コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	-
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価	B
--------	---------------------------------------	---

5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理できている。
--------------------	------------------

※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) アンケートから地域住民の利用満足度も高く、施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 修繕・清掃・衛生管理を徹底し、快適な環境づくりに努めた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 事務員1人だが、市役所と連携し、事務効率化は図られている。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 不要な支出を見直すなどできる限りの節約に努めている。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 選挙による利用料金の増加。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

清掃・衛生管理の強化など快適な環境づくりに努め、経年劣化による修繕を、市と連携して進めていきたい。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の長期的な維持管理のため、修繕箇所等の調査を行い、利用者が快適に施設を利用できるよう環境づくりに努める。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市香島コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価	B
--------	---------------------------------------	---

5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理ができています。
--------------------	--------------------

※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。

★モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)トラブルや苦情もなく来館者に利用していただいた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)コミセンが気軽に利用できるよう、喫茶スペースを利用し交流ができるよう努めている。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)運営委員及び市役所と連携し、効率よく業務が行えた。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)自分たちでできることは自分たちで行い、出費を抑えている。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)2件の葬儀と3回の選挙で会場使用があったため。	

【今後の業務改善に向けた考え方】
《指定管理者が実施・検討する事項》
清潔・衛生管理の徹底、快適な環境づくりに努める。また、光熱水費の支出の節約に努める。
《施設所管課が実施・検討する事項》
施設の長期的な維持管理のため、修繕箇所等の調査を行い、利用者が快適に施設を利用できるよう環境づくりに努める。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市越部コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特になし。		
※ 評価区分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた	☐ ②できなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由)利用者が増加し、トラブルもなく施設運営できた。			
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた	☐ ②図られなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由)利用者が気持ちよく利用できるよう清掃等による環境整備を徹底した。			
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた	☐ ②図られなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由)事務員複数名で業務遂行し、効率化を図ることができた。			
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☒ ①できた	☐ ②できなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由)運営委員と協力して節約している。			
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加	☐ ②減少	☐ ③直営時と変わらない
(理由)利用件数の増加により、利用料が増加した。			

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

清掃の徹底や備品管理などを行い、快適な環境づくりを目指す。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の長期的な維持管理を目的に修繕箇所等の調査を行い、利用者が快適に利用できる環境づくりに努める。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市半田コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)利用者からの苦情や問題もなく、スムーズな運営ができています。もっといろんな方に利用してほしい。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)出前講座等を利用した自主事業を実施し、市民の学習意欲を向上させる事業を行った。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)運営委員及び市役所と連携し、効率よく迅速に業務を行った。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)4月より使用料金の改定を実施したことにより、利用料金が増加した。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

毎月発行しているコミセン新聞を情報発信を強化することで利用促進を図る。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の整備・設備の修繕箇所等を調査し、施設の維持管理に努める。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市河内コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理を行っている。		
※ 評価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) ふれあい活動を通じて地域住民の連帯意識を高められた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 事務員1人で業務遂行し、効率化は図られている。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 必要最低限の経費でこれ以上の削減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
① (理由) R7では選挙での会場使用料が3回あったため。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

利用者アンケート実施を通じて、利用者からの意見を収集し、業務に反映させる。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設利用を促進するため、空きスペースなどの活用について検討を行う。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名:

たつの市室津センター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	A
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	A
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	A

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価	B
--------	---------------------------------------	---

5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理を行っている。
--------------------	-------------------

※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。

★モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)漏電、マンホール蓋など、老朽化により傷んだところを修繕することにより利用者の使用しやすい環境を整えた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)運営関係者及び利用者と情報の共有がスムーズで、連携が取れているため効率化は図られている。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)少ない予算でできる限りの経費節約をしている。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)R7では選挙が3回あり、会場使用料の増額があった。(R6年度は選挙で2回使用された)	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

利用者とのコミュニケーションの充実を図られているので、この体制を崩すことなく持続させていくよう努める。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の長期的な維持管理を目的に修繕箇所等の調査を行い、利用者が快適に利用できる環境づくりに努める。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市総合文化会館赤とんぼ文化ホール 施設担当課： 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	
【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B	

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。 施設設備の経年劣化により、今後設備改修を計画的に行っていく必要がある。 大規模修繕による一時閉館により利用者数が減少した。(令和6年度:1,157件 82,971人 令和7年度:832件 62,384人)	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 自主事業と施設の貸館業務により文化・芸術の振興及び地域文化の向上が図れた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 子どもから高齢者までの様々な年齢層を対象に幅広いジャンルの公演が行えた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 各職員の担当業務をそれぞれに共有し、効率よく迅速に業務が行えた。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☐ ①できた ☒ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 光熱水費:空調稼働増や電気・水道使用量(1ヵ月平均)の増で光熱水費が増額となった。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☒ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 1件あたりの利用単価が減少し、利用料収入が減った。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の維持管理に努める。

ホームページ、広告等による宣伝強化。

《施設所管課が実施・検討する事項》

開館後29年が経過し、経年劣化による施設の整備、設備の更新等を実施する。

業務に必要な人員確保と配置を行う。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市総合文化会館アクアホール 施設担当課: 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
水 準	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。 施設設備の経年劣化により、今後設備改修を計画的に行っていく必要がある。 1件あたりの来場者数の増により利用者数が増加した。(令和6年度:1,297件 41,679人 令和7年度:1,320件 48,468人)	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)自主事業と施設の貸館業務により文化・芸術の振興及び地域文化の向上が図れた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)地域に密着した市民参加型の事業を中心とした公演が行えた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)各職員の担当業務をそれぞれに共有し、効率よく迅速に業務が行えた。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☐ ①できた ☒ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)光熱水費:空調稼働増や電気・水道使用量の増で光熱水費が増額となった。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)1件あたりの利用単価が増加し、利用料収入が増えた。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の維持管理に努める。

ホームページ、広告等による宣伝強化。

《施設所管課が実施・検討する事項》

開館後24年が経過し、経年劣化による施設の整備、設備の更新等を検討する。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市青少年館 施設担当課: 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。 施設設備の経年劣化により、今後設備改修を計画的に行っていく必要がある。 利用件数の減により利用者数が減少した。(令和6年度:2,700件 69,431人 令和7年度: 2,635件 47,483人)	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)自主事業と施設の貸館業務により文化・芸術の振興及び地域文化の向上が図れた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)多様な教養講座やラケットボールの普及を通して文化とスポーツの両面の事業展開を行った。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)各職員の担当業務をそれぞれに共有し、効率よく迅速に業務が行えた。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)光熱水費:空調稼働減や電気・水道使用量の減で光熱水費が減額となった。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)1件あたりの利用単価が増加し、利用料収入が増えた。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の維持管理に努める。

ホームページ等による宣伝強化。

《施設所管課が実施・検討する事項》

開館後44年が経過し、経年劣化による施設の整備、設備の更新等を検討する。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名：

霞城館

施設担当課：

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。 利用者数の減により利用料金が減少した。(令和6年度:4,787人 令和7年度:3,558人)	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)たつの市出身の文化人に関する文献・資料の展示と顕彰・啓発事業が行えた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)展示・事業を通じ、地域文化の向上と来館者の意識高揚に寄与した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)各職員の担当業務をそれぞれに共有し、効率よく迅速に業務が行えた。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由)必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☒ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)利用者数の減により利用料金が減少した。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の維持管理に努める。

ホームページ等による宣伝強化。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の整備、設備の修繕等を調査・検討する。

必要な資格、経験等を有する人員確保に努める。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： 矢野勤治記念館 施設担当課： 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)たつの市出身の文化人に関する文献・資料の展示と顕彰・啓発事業が行えた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)展示・事業を通じ、地域文化の向上と来館者の意識高揚に寄与した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)各職員の担当業務をそれぞれに共有し、効率よく迅速に業務が行えた。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか？	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由)必要最低限の経費でこれ以上の削減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☐ ②減少 ☒ ③直営時と変わらない
(理由)入館料は無料のため	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の維持管理に努める。

ホームページ等による宣伝強化。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の整備、設備の修繕等を調査・検討する。

令和7年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市本龍野駅観光交流施設 施設担当課: 都市政策部都市計画課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		多目的室の新規利用団体や利用回数を増やし、安定的な利用料収入の増加に努めた。 ・英会話教室 月4回 ・書写(硬筆・毛筆) 月4回 ・こども絵画教室 月1回	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか?	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
①できた: 観光・地域情報の発信拠点として、観光案内所での特産物の展示・販売、観光案内等を行い、地域の交流活動の場として、市民向けの講座やイベントを開催した。	
2 市民サービスの向上は図られたか?	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
①図られた: 駅施設の清掃業務により、清潔で衛生的な維持管理を行い、駅利用者の利便性向上に寄与した。また、観光案内所では観光施設の案内や特産物の販売促進等により、市内観光客へのサービス向上に寄与した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか?	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
①図られた: 地域交流施設の利用受付や観光案内所の運営、駅施設の清掃業務の実施にあたり、適切な人員配置を行い、業務の効率化を図った。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか?	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
①できた: 電気代の増加により、光熱水費が増えたが、他の経費の縮減により、全体経費を削減できた。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか?	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
①増加: 多目的室の利用団体の増加により利用料収入が増えた。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

コロナ禍以降、コミセンまつり等のイベントの集客が伸び悩んでおり、更なるイベント広報による周知が必要である。

《施設所管課が実施・検討する事項》

指定管理者では実施が困難な駅施設の高所作業を伴う清掃を必要な時期に実施する。